

A L Tとの協働による外国語活動の充実

五泉・川東小学校

穏やかな農村地帯にある当校においても、これからは、豊かなコミュニケーション能力を外国語教育で重点的に育成することは、重要な課題の1つである。そこで、現在、五泉市教育委員会のA L Tとの協働による外国語活動の充実に取り組んでいる。

1 A L Tとの綿密な打ち合わせを活かした授業づくり

今年度、五泉市教育委員会所属のA L Tの年間来校回数は27回、年間総時間数は105時間である。A L Tの来校時には、毎回高学年の外国語活動の授業を各学級1時間実施し、残りの時間は、学級担任のみで行っている。

担任とA L Tとの打ち合わせは、来校時には、空き時間・休み時間・放課後等に行っている。直接会えない時は、電話・メール等も使い、授業内容を確認する時間を必ず確保している。特に高学年では、授業のねらいを両者が理解し、A L Tの個性や特性が生かされ、児童の学習意欲がより高まるようなT・T授業になるよう努めている。

A L Tの個性や特性を生かし、授業における児童とA L Tとの関わりを充実させることで、児童に外国語でコミュニケーションすることへの興味・関心と満足感を高めるようにしている。

2 A L Tの個性・特性を生かした特別活動への参画

演劇に興味・関心をもつA L Tの個性を生かし、児童会行事のクリスマス集会、ハロウィン集会に参加してもらった。高学年の担当児童・担当教員と一緒に休み時間や放課後に打ち合わせをし、演出をした。その練習はA L Tとの授業時間を活用した。また、秋の文化祭・学習発表会では、6年生がA L Tの指導のもと、英語劇を発表した。学年児童全員参加で、A L Tとシナリオについて話し合い、練習は外国語活動の授業時間を活用して実施した。

これらの取組により、外国語への親近感が生まれた。また、学習したことを多数の児童や保護者の前で、外国語で表現・発表する場を設定することで、発表力が高まった。A L Tや児童相互の話し合いを綿密に行うことは、コミュニケーション能力の育成にもつながった。

3 おわりに

児童会行事や学校行事への参画は、A L T本人の意欲がなければなかなか進まないが、その意味では、当校は恵まれていた。とはいえ、市教育委員会への働き掛け、学校行事参画へ向けた各方面への配慮等、校長としての対応や取組が必要となった。今後は、この取組が継続できる体制づくりを進めていきたい。